Best Available Copy

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-63590

(43)公開日 平成10年(1998)3月6日

(51) Int.CL ⁶	識別記号	庁内盛理番号	FΙ			技術表示箇所
G06F 13/00	351	74 / •—— <u> </u>	G06F	13/00	351G	
H04L 12/54		9744-5K	H04L	11/20	101B	
12/58			•			

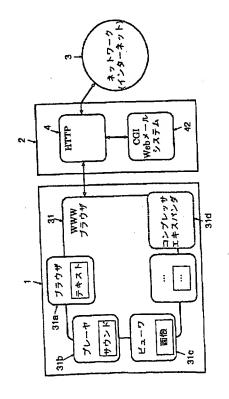
		審査請求 有 請求項の致7 OL (全 32 頁)
(21)出願番号	特顯平8-223740	(71) 出願人 593059762 中村 尚五
(22)出願日	平成8年(1996)8月26日	千葉県松戸市新松戸7-63 サンライトパ ストラル5-C-207
		(71)出願人 593059773 富士ソフトエービーシ株式会社 神奈川県鋭倉市岡本2丁目13番18号
		(72)発明者 中村 尚五 千葉県松戸市新松戸7-63 サンライトパ ストラル5-C-207
-	•	(72) 発明者 小濱 隆司 愛知県刈谷市宝町4-3-2
-		(74)代理人 弁理士 大叔 廢徳 (外1名)

(54) 【発明の名称】 電子メールシステムおよび電子メールの処理方法

(57)【要約】

【課題】 ネットワークを介した個人間の通信手段として発達してきた電子メールは、テキストデータの交換を基本にしているが、マルチメディアを比較的簡単に扱うことができるWWWの普及に伴い、電子メールにおいても、マルチメディアを扱うことが期待されている。

【解決手段】 WWWサーバ2上で稼働するWebメールシステム42は、WWWブラウザ31からの指示に応じたHTMLページを返す。ユーザは、Webメールシステム42から送られてきたライトメールページによって、メールのあて先、メッセージおよび添付ファイルを入力または指示する。Webメールシステム42は、ユーザの指示に従いマルチメディアに対応したハイバテキスト形式のWebメールを作成する。作成されたWebメールは、ハイバテキスト転送プロトコル(HTTP)41によってネットワーク3へ送信される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ハイパテキストによって構成される画面 情報を表示するとともに、その画面情報に対応する情報 を入力する表示入力手段と、

前記表示入力手段によって入力された情報に応じて画面 情報を生成する第一の生成手段と、

前記表示入力手段によって入力された情報に基づき、ハイパテキストによって構成される電子メールを生成する 第二の生成手段と、

ネットワークを介した電子メールの転送をハイパテキス ト転送プロトコルを用いて行う転送手段とを備え、

前記転送手段は、前記第二の生成手段により生成された電子メールを前記ネットワークへ送信するとともに、前記ネットワークから受信した電子メールを前記第一の生成手段へ送ることを特徴とする電子メールシステム。

【請求項2】 前記表示入力手段は、受信された電子メールに添付されたデータから動画を含む画像および/またはサウンドを再生することを特徴とする請求項1に記載された電子メールシステム。

【請求項3】 前記第一の生成手段は、受信した電子メールを保存する記憶手段を備え、前記表示入力手段から電子メールのリードを指示された場合、指示された電子メールを前記記憶手段から読出し、読出した電子メールに基づき画面情報を生成することを特徴とする請求項1に記載された電子メールシステム。

【請求項4】 前記第一の生成手段は、前記表示入力手段へ送る画面情報の少なくとも一つにパスワードを埋め込み、以降、前記表示入力手段から送られてくる情報に前記パスワードまたは前記パスワードに関連する文字列が含まれているか否かを検査することを特徴とする請求項1に記載された電子メールシステム。

【請求項5】 前記第一の生成手段は、ユーザを管理するための記憶手段を備え、前記表示入力手段からの指示に基づき、前記記憶手段から抽出したユーザのリストに基づく画面情報を生成することを特徴とする請求項1に記載された電子メールシステム。

【請求項6】 前記第二の生成手段は、電子メールに添付するファイルが指示された場合、そのファイルへのリンク情報を、生成する電子メールに添付することを特徴とする請求項1に記載された電子メールシステム。

【請求項7】 ハイパテキストによって構成される画面 情報を表示する表示ステップと、

前記表示ステップで表示した画面情報に対応する情報が 入力される入力ステップと、

前記表示入力ステップで入力された情報に応じて画面情 報を生成する第一の生成ステップと、

前記入力ステップで入力された情報に基づき、ハイパテキストによって構成される電子メールを生成する第二の生成ステップと、

ハイパテキスト転送プロトコルを用いて、前記第二の生

成ステップで生成した電子メールをネットワークへ送信し、前記ネットワークから電子メールを受信する転送ステップと、前記転送ステップで受信した電子メールに基づく画面情報を生成する第三の生成ステップとを有することを特徴とする電子メールの処理方法。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は電子メールシステムおよび電子メールの処理方法に関し、例えば、ハイパテキスト転送プロトコルを用いた電子メールシステムおよび電子メールの処理方法に関するものである。

[0002]

【従来の技術】近年、インターネットなどのネットワークが世界的に普及し、World Wide Web(WWW)による情報発信、情報検索、オンラインショッピング、電子メール(E-mail)によるコミュニケーションなど、様々なアプリケーションが普及している。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】ハイパーテキスト組み指定言語(HyperText Markup Language: HTML)で作成されたハイパーテキストファイルで構成されるWWWは、テキスト、書式付きテキスト、動画を含む画像、サウンドなどの様々なデータからなるマルチメディアを提供し、WWWに対応したブラウザを用いれは、WWWから提供されるマルチメディアを容易に再生することができる。さらに、WWWが提供するハイパーテキストには、インターネット上のリソースを指定するためのリンクを埋め込むことができるので、WWWにアクセスしているユーザは、ブラウザにより表示された例えばアンダーラインが引かれたワード、つまりリンクが設定されたワードをクリックするだけで、そのリンク先の情報をブラウザに表示させることができる。

【0004】一方、ネットワークを介した個人間の通信手段として発達してきた電子メールは、テキストデータの交換を基本にしている。しかし、マルチメディアを比較的簡単に扱うことができるWWWの普及に伴い、電子メールにおいても、マルチメディアを扱うことが期待されるようになった。なお、以下では、コンピュータが扱うことができるテキスト、書式付きテキスト、動画を含む画像、サウンドなどのデータや、様々なアブリケーションソフトウェアによって作成されるデータなどを、マルチメディア対応の電子メールをマルチメディアメールと呼ぶことにする。

[0005] 本発明は、上述の問題を解決するためのものであり、マルチメディアメールの送受信が可能で、操作が容易な電子メールシステムおよび電子メールの処理方法を提供することを目的とする。

[0006]

【課題を解決するための手段】本発明は、前記の目的を

達成する一手段として、以下の構成を備える。

【0007】本発明にかかる電子メールシステムは、ハイパテキストによって構成される画面情報を表示するとともに、その画面情報に対応する情報を入力する表示入力手段と、前記表示入力手段によって入力された情報に応じて画面情報を生成する第一の生成手段と、前記表示入力手段によって構成される電子メールを生成する第二の生成手段と、ネットワークを介した電子メールの転送をハイパテキスト転送プロトコルを用いて行う転送手段とを備え、前記転送手段は、前記第二の生成手段により生成された電子メールを前記ネットワークへ送信するとともに、前記ネットワークから受信した電子メールを前記第一の生成手段へ送ることを特徴とする。

【0008】また、本発明にかかる電子メールの処理方法は、ハイパテキストによって構成される画面情報を表示する表示ステップと、前記表示ステップで表示した画面情報が入力される入力ステップと、前記表示入力ステップで入力された情報に応じて画面情報を生成する第一の生成ステップと、前記入力ステップで入力された情報に基づき、ハイパテキストによって構成される電子メールを生成する第二の生成ステップと、ハイパテキスト転送プロトコルを用いて、前記第二の生成ステップで生成した電子メールをネットワークへ送信し、前記ネットワークから電子メールを受信する転送ステップと、前記転送ステップで受信した電子メールに基づく画面情報を生成する第三の生成ステップとを有することを特徴とする。

[0009]

【発明の実施の形態】以下、本発明にかかる一実施形態 の電子メールシステムを図面を参照して詳細に説明す る。

【0010】 [MIMEを用いる電子メールシステム] 電子メールを転送するプロトコルであるSimple Mail Transfer Protocol (SMTP)に従った電子メールシステムで、マルチメディアを扱うための規格としてMultipurpose Internet Mail Extension (MIME)が提案されている。MIMEに対応する電子メーリングソフトウェア (以下では「メーラ」と呼ぶ)は、電子メールに含めるデータの種類を示すヘッダ (以下では「MIMEヘッダ」と呼ぶ)を電子メールに付加するとともに、そのデータを標準的な手順(例えば、uuencode、base64)でエンコードして電子メールに添付する。一方、電子メールを受信したMIMEに対応するメーラは、受信した電子メールに付加されたMIMEヘッダに基づき、その電子メールに添付されたデータを標準的な手順(例えば、uudecode、逆base64変換)でデコードする。

【0011】図1はMIMEを利用する電子メールシステム の構成例を示すブロック図である。各ユーザのパーソナ ルコンピュータ1には、MIMEに対応したメーラ11および マルチメディアを作成、編集および再生するための様々なアプリケーションソフトウェアが必要である。アプリケーションソフトウェアとしては、例えば、テキストおよび書式付きテキストデータ用のエディタ12、サウンドデータ用のレコーダ・プレーヤ13、画像データ用のエディタ・ビューワ14などが必要になる。また、作成されたマルチメディアを電子メールに添付する際にデータ圧縮するとともに、受信した電子メールに添付された圧縮データを伸長するためのコンプレッサ・エキスパンダ15も必要になる。

【0012】ホストコンピュータ2には、SMTP 21が設定されるとともに、ネットワーク3から電子メールを受取り保管するためのプロトコルPost Office Protocol (POP)および電子メールアドレスに基づいて電子メールを配送するプログラムであるsendmail 22が設定され動作している。従って、ホストコンピュータ2はメールサーバとして機能し、パーソナルコンピュータ1から送られてきた電子メールをネットワーク3へ転送するとともに、ネットワーク3から受信した電子メールを電子メールアドレスで指定されたパーソナルコンピュータ1へ配送することができる。

【0013】図1に示す電子メールシステムを構築することにより、パーソナルコンピュータ1のユーザはマルチメディアを添付したマルチメディアメールを送信することができる。一方、マルチメディアメールを受信したユーザは、メーラ11によりデコードされたマルチメディアを、適切なアプリケーションソフトウェアを用いることで再生することができる。

【0014】しかしながら、上記した電子メールシステムにおいてマルチメディアを再生するためには、図1に示すように、テキスト、動画、画像、サウンドなどのデータそれぞれを再生することができる複数のアプリケーションソフトウェアをパーソナルコンピュータ1に備える必要があり、扱うマルチメディアの種類が増えれば、それに対応するアプリケーションソフトウェアを追加しなければならない。さらに、メーラ11によりエンコードされたデータを再生する場合、それに対応するアプリケーションソフトウェアを指定しなければならない欠点もある。

【0015】従って、上記した電子メールシステムのユーザは、メーラ11の操作に加えて、複数のアプリケーションソフトウェアの機能および操作を理解する必要がある。また、上記した電子メールシステムの管理者は、ホストコンピュータ2の保守およびメーラ11の入手、配布、保守に加えて、複数のアプリケーションソフトウェアの入手、配布、保守を行う必要がある。さらに、アプリケーションソフトウェアによっては、パーソナルコンピュータの機種を選ぶものがあり、システム管理者の作業を複雑なものにしている。

【0016】すなわち、MIMEを用いた電子メールシステ

ムによりマルチメディアメールの送受信は可能になるが、その運用には複雑な作業および操作が伴うことになり、WWWをブラウジングするような快適な操作性を得ることはできない。

【0017】 [HTTPを用いる電子メールシステム] 次に、本発明にかかる電子メールシステムを説明する。本発明にかかる電子メールシステムは、WWVで用いられるプロトコルHyperText Transfer Protocol (HTTP)を利用してマルチメディアメールを送受信するものである。以下では、この電子メールシステムをWebメールシステムと呼ぶことにする。

【0018】図2はWebメールシステムの構成例を示す図である。各ユーザのパーソナルコンピュータ1には、Net scape Navigator (Netscape Communications社製)に代表されるWWWブラウザ31を備える。ブラウザ31は、テキストおよび魯式付きテキストデータを表示するためのブラウザ31a、サウンドデータを再生するためのブレーヤ31b、画像データを再生するためのピューワ31c、データの圧縮伸長を行うコンプレッサ・エキスパンダ31dなどを備えている。さらに、必要があれば、添付ファイルを含むメールの内容を暗号化する暗号化・復号部を備えることもできる。

【0019】また、ブラウザ31が対応していない種類のデータを再生する必要が生じた場合は、そのデータを再生することができるアプリケーションソフトウェアをパーソナルコンピュータ1にインストールする。そして、そのデータの種類とインストールしたアプリケーションソフトウェアとを関連付けることで、インストールしたアプリケーションソフトウェアをブラウザ31のヘルパとして機能させることで、ブラウザ31が対応していない種類のデータを再生することができる。

【0020】ホストコンピュータ2にはHTTP 41が設定され、ホストコンピュータ2はWWWサーバとして機能する。そして、HTTP41のデーモンプロセスを介して呼び出されるCommon Gateway Interface (CGI) 42によりWebメールシステムが実現されている。CGI42は、WWW形式で作成されたアンケートやデータ検索などを処理するプログラムへのインタフェイスであり、CGI42により呼び出されるプログラム(CGIプログラム)は、任意のWWWブラウザから文字列やファイルを受け取り、処理を行い、その処理結果などをハイパテキストで返すものである。

【0021】本実施形態においては、CGI42によって呼び出されるCGIプログラムの一つとしてWebメールシステムが稼働している。詳細は後述するが、CGI42によって呼び出されるWebメールシステムは、HTTP 41によりネットワーク3からマルチメディアメールが受信された場合、そのマルチメディアメールをホストコンピュータ2の記憶媒体上に割り付けられたユーザ用のデータベースへ保管する。保管されたマルチメディアメールは、その着信アドレスに対応するパーソナルコンピュータ1のブ

ラウザ31からWWWサーバ (ホストコンヒュータ2) に対するアクセスが発生した際に、HTTP 41によりパーソナルコンピュータ1のブラウザ31へ転送される。ブラウザ31は、ハイパテキストで構成されるマルチメディアメールをパーソナルコンピュータ1に接続されたモニタに表示するとともに、ユーザの指示に従い、マルチメディアメールを構成するマルチメディアの再生を実行する。

【0022】また、詳細は後述するが、パーソナルコン ピュータ1からマルチメディアメールの送信指示を受け たWebメールシステムは、送信アドレスに対応するWWWサ ーパのCGIを呼び出し、ハイパテキストで記述したマル チメディアメールを、送信先のCGIにより呼び出されるW ebメールシステムに送る。

【0023】つまり、Webメールシステムは、HTTPおよびCGIの応用範囲を拡張して、HTTPおよびCGIの機能を有効に利用したアプリケーションシステムであるといえる。勿論、WebメールシステムにおいてHTTPをフルサポートすれば、独立したメールシステムとして構築することもできるが、WWWサーバのCGIに対応するプログラムとしてメールシステムを構築することにより、その実現は容易になる。従って、図2には、CGI42によりWebメールシステムを構築する例を示している。

【0024】また、図2には示さないが、通常の電子メールを交換するために、ホストコンピュータ2には、SMT PおよびPOPが設定されている。

【0025】 [マルチメディアメールのフォーマット] 図3はWebメールシステムが取り扱うマルチメディアメールのフォーマット例を示す図である。

【0026】同図において、ヘッダ51にはメールの発信者名(Name)、発信者のメールアドレス(From)、あて先のメールアドレス(To)などが含まれる。本文52にはサブジェクト(Subect)、メッセージ(Message)などが含まれるが、ハイパテキストで作成されたメッセージには、書式付きテキストを含むテキストだけでなく、他のデータへのリンクを示すリンク情報を含めることもできる。

【0027】また、53および54は添付ファイル(File)である。これらのファイル(リソース)はメールの一部として、パイナリデータの転送に対応したHTTPによりそのまま転送される。従って、Webメールシステムでは、送信するファイルをエンコードする必要はない。また、Webメールシステムでは、添付ファイルのリソースをWWWサーバ内に割り付けられたメールボックスに保管し、そのファイルにアクセスするためのリンク情報を送信してもよい。つまり、リンク情報はWWWサーバのメールボックスを示すURL(Uniform Resource Locator)である。

【0028】なお、図3には添付ファイルが二つの例を 示したが、添付ファイルの数に制限はなく、零を含む任 意の数である。

[0029] また、ヘッダ51には添付ファイルの種類を示すMIMEヘッダを付加するが、WebメールはHTTPにより

転送されるので、パイナリデータの添付ファイルであってもエンコードすることなく、そのまま転送することができる。従って、電子メールシステムのように、パイナリデータを一旦テキストデータにエンコードして転送する必要がないので、Webメールシステムでは添付ファイルにより転送効率が悪化することはない。

【0030】 [Webメールアドレス] 電子メールシステムにおいては、ユーザ名®ドメイン名(例えばname@net.or.jp)の形式の電子メールアドレスが用いられている。これに対して、Webメールシステムにおいては、通常の電子メールシステムとの差別化を図るため、および、HTTPを利用してメールの転送を行うことを明示するために、例えばユーザ名@URLの形式をWebメールアドレスの基本にする。なお、URLは"種別://サーバ/ディレクトリ/ファイル"という形式でアクセス先を記述する。図4にWebメールアドレスの例を示すが、(6)および(7)は特殊な例である。

【0031】 [Webメールの操作] 図5はWebメールの操作手順の一例を示す図で、ブラウザ31からホストコンピュータ2で稼働するWebメールシステム45にアクセスする例を示している。

【0032】ユーザは、ステップS11でブラウザ31を用いてWWWサーバのWebメールのページにアクセスする。つまり、Webメールのページを示すURLをブラウザ31に指示すればよい。Webメールシステム45は、ステップS21で図6に一例を示すパスワードの入力を促す画面(パスワードページ)をブラウザ31へ返す。これに対してユーザは、ステップS12でメールユーザとしての名前(勿論、IDでもよい)およびパスワードを入力する(図7参照)。なお、ゲストの場合は、名前と電子メールアドレスとを入力する(図8参照)。

【0033】名前およびパスワードを受け付けたWebメールシステム45は、ステップ822で、名前とパスワードの関係が一致しているか否かをユーザデータベース43を参照して確認する。そして、両者の関係が一致していれば正規のメールユーザであるとして、メールデータベース44からそのメールユーザに対応するの受信メール情報を読出し、図9に一例を示す受信メールページをブラウザ31に返す。図9に示す例では、着信順に四つのメールがリストされ、Read欄には、メール本文のほかに添付ファイルがある場合は、そのデータの種類を示すアイコンが追加表示されている。

【0034】ユーザは、ステップ\$13で受信メールベージのリストの中から読もうとするメールを選択し、そのメールのアイコンなどをクリックする。また、添付ファイルを示すアイコンをクリックして、添付ファイルを再生する場合は、メールの選択を受け付けたWebメールシステム45は、ステップ\$23で、選択されたメールの情報をメールデータベース44から読み出し、図10に一例を示すリードメールページを返す。図10に示す例では、添付

ファイルがあるため、そのデータの種類を示すアイコンが追加表示されている。また、メッセージが「test2」だけであるため、リードメールページが一枚の画面に収まっているが、長文のメッセージの場合はリードメールページは一枚の画面に収まるとは限らず、その場合、画面の右端などにスクロールバーおよびスクロールアローが現れる。

【0035】ユーザは、ステップS14で選択したメールを読み、図10に示すリードメールベージの例えば最下端に表示されたサブメニュー(SUB MENU)のリンク情報をクリックすることにより、メールの情報(info)、一つ前または一つ後のメールのリード(Prev, Next)、メールまたは返信の作成(Write, Reply)、既読メールの転送(Move)、メールの削除(Delete)などの操作を選択することができる。Webメールシステム45は、ステップS24で、ユーザにより選択された操作に従った処理を行う。

【0036】例えば、ステップS14でメールの作成が選択された場合、Webメールシステム45は、ステップS24で図11Aに一例を示すライトメールページを返す。ユーザは、ステップS15で、メールのあて先、サブジェクトおよびメッセージなどを入力し、必要に応じてファイルを添付する。図11Bは添付するファイルを選択するための選択ダイアログが開いた様子を示す図、図11Cは添付ファイルが指定された様子を示す図である。なお、図11Aから図11Cには、添付ファイルとして、書式付きテキストを含むテキストファイル、ボイス・サウンドファイル、グラフィックスファイルを指定することができる例を示したが、これら以外にも任意種類のファイルを添付することができ、添付するファイルの数にも制限はない。

【0037】ユーザは、メールの作成が終わると、ライトメールページの例えば最下端に表示された[POST MAI L]ポタンをクリックする。メールのポストを受け付けたWebメールシステム45は、作成されたメールをメールデータペース44にポストし、図12に示すメールを受領したことを示すステータスページを返す。

【0038】ユーザは、ステップ816で、ステータスページによりメールが受領されたことを確認した後、図5には示さないが、ステップ813から815を連続に、または、個別に繰り返して、必要なメールのリードおよび返信の作成などを行った後、Webメールページのアクセスを終了する。

【0039】[他のWebメールシステムへメールを送る] 図11Aから図11Cは、同じWWWサーバ上で稼働するWebメールシステムのユーザ(以下では「内部ユーザ」と呼ぶ)にメールを送る例を示している。従って、図11Aから図11Cに示すメールのあて先(To:の欄)には、省略されたWebメールアドレス(メールユーザ名だけ)が記入されている。勿論、フルアドレスを記入しても差し支えない。しかし、他のWWWサーバ上で稼働するWebメールシ

ステムのユーザ(以下では「外部ユーザ」と呼ぶ)にメールを送る場合は、Webメールアドレスの一部を省略することはできない。

[0040] 図13は外部ユーザにメールを送る場合のWebメールの操作手順の一例を示す図、他のWWWサーバ(ホストコンピュータ2')上で稼働するWebメールシステム45'に、ブラウザ31からメールを送る場合を示している。なお、図5に示したステップと同一手順のステップには、同一符号を付し、その詳細説明を省略する。

【0041】ユーザは、ステップS17で、図9に示した受信メールページのメニュー(Menu)からライトメール(Write Mail)を選択する。Webメールシステム45は、ステップS26で、図14に一例を示すライトメールページを返す。ユーザは、ステップS18で、メールのあて先、サブジェクトおよびメッセージなどを入力し、必要に応じてファイルを添付する。この場合、メールのあて先はWebメールシステム45のユーザであるから、Webメールアドレスの一部を省略することはできない。従って「ユーザ名側JRL」形式のWebメールアドレス、図14に示す例では「hana@http://mmm.patest.co.jp」を記入する。

【0042】ユーザは、メールの作成が終わると、ライトメールページの例えば最下端に表示された[POST MAI L]ボタンをクリックする。メールのポストを受け付けたWebメールシステム45は、ステップS27で、HTTP 41によりメールのあて先に指定されたWebメールを送信する。Webメールを受信したWebメールを送信する。Webメールを受信したWebメールサーバのWebメールシステム45'は、ステップS31で、受信したWebメールをメールデータベース44'にポストし、メールを受領したことを示すステータスページを返す。Webメールシステム45は、ステップS28で、Webメールシステム45は、ステップS28で、Webメールシステム45は、ステップS28で、Webメールシステム45でよるテータスページをと使力した図15Aおよび図15Bに示すステータスページをWWWブラウザ31へ返す。

【0043】なお、Webメールシステム間でWebメールが 転送される場合、メールの送信者情報、つまりFrom:に 送信側のWWWサーバのURLが自動的に付加される。

【0044】図16はあて先情報の変換例を示す図である。同図(a)は、送信側のWebメールシステムにおけるWebメールのフォーマットを示している。つまり、送信側のWebメールサーバのアドレス「Taro」から、Webアドレス「Hanako@http://mmm.server2.net.or.jp」で指定される受信側のWebメールサーバ(mmm.server2.net.or.jp)のアドレス「Hanako」へ送られるWebメールのフォーマットを示している。

【0045】また、同図(b)は、受信側のWebメールシステムにおけるWebメールのフォーマットを示している。つまり、Webメールアドレス「Taro@http://mmm.server 1.net.or.jp」から、アドレス「Hanako」あてに送られてきたWebメールのフォーマットを示している。

【0046】 [カーボンコビーを送信する場合] 図17はカーボンコビーを送信する場合のライトメールページの一例を示す図である。つまり、同じWebメールシステムのユーザである「jiro」にWebメールを送るとともに、Cc:の欄に同じWebメールシステムのユーザである「hana」と「taro」とを指定することで、「jiro」に送るとの同じメッセージ、つまりカーボンコピーを「hana」「taro」の二人のユーザに送ることができる。なお、詳細な説明はしないが、ブラインドカーボンコピー(Bcc)もカーボンコピー(Cc)と同様に実現することができるのは言うまでもない。

【0047】図18Aおよび図18Bはカーボンコピーを送信した場合のステータスページの一例を示す図で、「jiro」あてのメールを受領したことを示すメッセージに続き、「hana」と「taro」あてのカーボンコピーを受領したことを示すメッセージが表示されている。

[0048] [通常の電子メールシステムとの間でメールを交換する場合] 通常の電子メールを送受信する場合は、ホストコンピュータ2に設定されているSMTPおよびPOPを利用する。

【0049】Webメールシステム45は、POPにより受信された電子メールを、Webメールと同様に、メールデータベース44に保管する。ただし、電子メールがMIMEへッダを含む場合は、標準的な手順でデータをデコードした後、メールデータベース44に保管する。従って、ユーザは、メールデータベース44に保管された電子メールを、前述した操作手順で読むことができる。

【0050】また、図19に示すライトメールページのように、あて先に電子メールアドレスが指定された場合、Webメールシステム45は、WWWブラウザ31によりポストされたWebメールを、通常の電子メールフォーマットに書き換えてSMTPにより送信する。勿論、メッセージに日本語が含まれる、添付ファイルがあるなど、必要な場合はWebメールを、MIMEヘッダを含む形式の電子メールフォーマットに書き換えて送信する。

【0051】この場合、Webメールシステム45は、図20 に示すような、受領したメールを電子メールとして転送 する、つまりSMTPで送信することを示すステータスペー ジを返す。

【0052】 [セキュリティ] メールに関するプライバシを保護するためには、Webメールページなどのアクセスごとにユーザの認証を行うのが好ましい。

【0053】一方、一般に、ホストコンピュータ2にアクセスする際はパスワードが要求される。このホストコンピュータ2にアクセスするためのパスワードをWebメールユーザの認証に利用することもできる。しかし、出先から自分あてのメールを確認する場合など、パスワードがクライアントからサーバまで多数のコンピュータに中継される可能性が有り、パスワードが盗まれる危険がある。また、HTTPはアクセスごとに通信を切断するため、

Webメールページを継続してアクセスするためには、アクセスの度にパスワードを送る必要がある。従って、同じパスワードを繰り返し送信することになり、パスワードが盗まれる危険が高くなる。

[0054] Webメールシステムは、上記の問題を解決してセキュリティを維持するために、ホストコンピュータ2にアクセスするためのパスワードによる認証システムとは別に、メールシステム独自の認証システムを備えている。勿論、Webの公開鍵機能も利用することができる。

【0055】図21はWebメールシステムのユーザ認証手順の一例を示す図である。

【0056】ユーザまたはブラウザ31は、ステップ841で、メールユーザパスワードをネットワークを介してWebメールシステム45へ送る。メールユーザパスワードを受信したWebメールシステム45は、ステップ851で、ユーザデータベース43を参照して、送られてきたメールユーザパスワードをチェックする。正しいパスワードであれば、ステップ852で乱数を用いてアクセスパスワード(AP)を発行し、ステップ853でアクセスパスワードを埋め込んだベージ(例えば受信メールベージ)を返す。このアクセスパスワードは、ユーザからは見えない状態でHTMページフォーマットに埋め込まれている。また、Webメールシステム45は、ユーザと、そのユーザに対して発行したアクセスパスワードの関係をユーザデータベース43に記録し管理する。

【0057】以降、Webメールシステム45はアクセスパスワードを送らず、ブラウザ31はWebメールシステム45へのアクセス(S42)にアクセスパスワードまたはアクセスパスワードに関連した文字列を含める。Webメールシステム45は、ブラウザ31からアクセスされる度にアクセスパスワードに基づく認証を行い(S54)、認証されたアクセスに対してだけ応答するとともにHTMLページを返す(S55)。

【0058】ユーザからアクセスの終了が要求される(S43)と、Webメールシステム45は、そのユーザに対して発行したアクセスパスワードを無効にする(S56)。

【0059】 [ユーザ検索] Webメールページのメニューからメンバリスト(Member List)を選択すると、Webメールシステム45から図22に一例を示すメンバリストページが返され、同じWebメールシステムに登録されているユーザ、つまりユーザデータペース43に登録されている内部ユーザのリストを得ることができる。そして、リストの左端に表示されたアイコンをクリックすれば、そのユーザあてのメールを作成することができる。

【0060】Webメールベージのメニューからサーチ(Search)を選択すると、Webメールシステム45から図23に一例を示すサーチベージが返され、メンバリストから特定のユーザを検索することができる。検索用のフィールドには、例えば、名前(Name:)、グループ(Group:)、キー

ワード(Keyword:)があり、その何れかまたは組み合わせによって特定のユーザまたはユーザ群を抽出することができる。図24は検索を行った結果の一例を示す図で、名前に「jiro」が含まれるユーザがリストされている。

【0061】なお、メンバリストおよび検索の範囲は、内部ユーザに限られるものではなく、他のWebメールシステムとの間でメンバリストおよび検索を行うためのユーザデータを定期的に交換すれば、外部ユーザを含むメンバリストを得たり、外部ユーザを含む検索も可能になる。

【0062】検索によりリストされたユーザへは、同報メールを送ることができる。つまり、図24の検索結果を示すリストに含まれる「ALL Matched Member」行のアイコンをクリックすれば、抽出された内部および外部のユーザすべてに、同報メールを送ることができる。

【0063】Webメールページのメニューから環境(Configuration)を選択すると、Webメールシステム45から図25に一例を示す環境設定ページが返され、ユーザ名を除いた各設定項目を設定または更新することができる。同じWebメールシステムに登録されているユーザ、つまりユーザデータペース43に登録されている内部ユーザのリストを得ることができる。なお、設定項目のグループ(Group:)およびキーワード(Keyword:)は、上記の検索に用いるためのデータである。また、POP用の電子メールアドレスも、このページで設定する。

【0064】 [その他の機能] 以上、Webメールシステムの主要な機能を説明したが、この他にもWebメールシステム45は多数の機能を備えている。例えば、ブラウザ31のクライアントブル機能により、図25の設定項目「Get Mail Interval:」に設定した時間間隔でメールの受信を確認する機能や、さらに、送受信メールを階層管理する機能もある。

【0065】また、添付ファイルのリンク情報を送る場合は、図29Aに一例を示すように、ライトメールページの「Link:」項にあて先を設定する。図29Aの例においては、「File 2:」に設定されたファイルは、WebメールサーバのユーザTaroのメールボックスに格納され、そのファイルへのリンク情報(URL)が「Link:」に設定されたdenkoあてに送られる。勿論、「Link:」あて先を設定するとともに、「To:」や「Cc:」あて先を設定すれば、「To:」や「Cc:」に設定されたあて先には、リンク情報ではなくファイル(リソース)が転送される。「Link:」あて先が設定されたメールのポストを受け付けたWebメールシステム45は、作成されたメールをメールデータベース44にポストし、図29Bに示すメールを受領したことを示すステータスページを返す。

[0066] 本実施形態においては、ユーザがリンク情報の送信を希望する場合、リンク情報の送信を明示的に指示させる目的と、電子メールシステムのインタフェイスとの互換性を考慮して、上記したように「Link:」あ

て先を用いる。例えば、「To:」や「Cc:」あて先に付属したリンク情報の送信を指示するボタンを設けることにより、「To:」や「Cc:」に指定されたあて先へリンク情報を送ることもできる。例えば、図29Aの例においては、「File 2:」に設定されたファイルは、WebメールサーバのユーザTaroのメールボックスに格納され、そのファイルへのリンク情報(URL)が「To:」や「Cc:」に設定されたあて先に送られることになる。

【0067】また、送信したWebメールなどはユーザのメールボックスに保管される。従って、メールボックスから呼び出したメールを再送し、転送することができるとともに、後述する開封確認を行うことができる。図30Aから図30Cはメールログページの一例を示す図で、「Status:」の項目に並んだラジオボタンを選択することにより「すべて(all)」「未読または未開封(new)」「既読または開封済(read)」または「送信(source)」の条件で、メールボックスに保管されたメールをリストすることができる。図30Aはsourceを選択して送信メールをリストした状態を、図30Bはallを選択して全メールをリストした状態をそれぞれ示している。また、図30Cはallを選択し、「Name:」の項に「hana」を設定して、あて先または発信者のメールアドレスに「hana」が含まれるメールをリストした状態を示している。

【0068】Webメールシステム45は、送信したメール を相手が読んだか否かを確認するメール開封確認機能を もっている。つまり、図31Aに一例を示すように、メー ルの受信者であるdenkoがtaroからのWebメールを初めて 読む際、そのメールに開封確認フラグが設定されている と、Webメールシステム45は、図31Bに一例を示すよう に、開封されたことを示すデータ、例えば「Read Retur n: denko read」を含む開封確認情報が送信者であるtar oあてに送る。Webメールシステム45は、開封確認情報を 受信すると、メールボックスにその情報に対応するWeb メールに関するログの開封者リストに、受信した開封確 認情報に含まれるデータ、例えば「denko read」を記録 する。なお、開封確認フラグの設定は、Webメールの作 成時に、図11Aに示したライトメールページの下部にあ る「read and Return」オプションのチェックボックス をチェックしておけばよい。

【0069】 [プログラム] Webメールシステムは、ホストコンピュータ2の稼働するWWWサーバ46のCGIプログラムとして機能する、機能的に二つのプログラムから構成されている。一つ目のプログラムは、Webメールユーザ、および、それらのユーザからのWebメールを管理し、WebメールのHTMLページを作成する機能をもつWebメールユーザマネジャ42aである。

【0070】二つ目のプログラムは、受信したWebメールをあて先のユーザ(ブラウザ)に配送する機能をもつハイパテキストポストオフイス(HTPO)42bである。その他に、前述したユーザデータベース43およびメールデー

タベース44がある。

【0071】さらに、ホストコンピュータ2には、通常の電子メールの交換を行うために、Webメールシステムとは独立して、前述したSMTP 21、POP 22aおよびsendmail 22bが設定され動作している。

【0072】図27はWebメールユーザマネジャ42aの処理 例を示すフローチャートで、Webメールシステムがアク セスされる開始される処理を示している。

【0073】Webメールユーザマネジャ42aは、ステップ S101でユーザデータベースを開き、ステップS102でバス ワードが正しいか否かをチェックする。パスワードが正しければ、ステップS103でユーザに合わせた設定を行う。つまり、図25に示したユーザ設定ページにより設定されたデータに従い、ユーザに対する動作を設定する。【0074】続いて、ステップS104ではデータベースのメンテナンスを行う。例えば、メールの削除、パスワードの変更、環境設定の変更などに対応するコマンドを実行する。その後、ステップS105でユーザが発行したコマンドをチェックする。

【0075】コマンドが正しければ、ステップ\$106でそのコマンドに対応するHTMLページを作成する。なお、ステップ\$106で作成するのは、前述した\$HTMLページであるから、ここでは説明を省略する。

【0076】一方、ステップ\$102でパスワードが正しくなかった場合は、ステップ\$107で図6に示したパスワードページを返し、正しいパスワードの入力を促す。また、ステップ\$105でコマンドが正しくなかった場合は、ステップ\$108でエラーページを返す。

【0077】図28はHTP042bの処理例を示すフローチャートで、Webメールサーバにメールが着信すると開始される処理を示している。

【0078】HTP042bは、ステップS201で着信メールのあて先を調べ、あて先がWebメールアドレスであれば、ステップS202で他のWebサーバあてのメールか否かを判定し、自分が稼働するWebメールサーバ46あてのメールであればステップS203へ進む。

【0079】また、着信メールのあて先が電子メールアドレスで示されている場合は、ステップS207でフォーマットを書き換えることによりWebメールを電子メールに変換し、ステップS208でSMTPにより変換した電子メールを転送する。また、他のWebメールサーバあてのWebメールの場合は、ステップS209でHTTPによりWebメールを転送する。

【0080】一方、ステップS203でユーザデータベース43を開き、ステップS204であて先のWebメールアドレスに対応するユーザが存在するか否かを判定する。対応するユーザが存在すれば、着信したWebメールを、そのユーザに対応させてメールデータベース44にポストし、ステップS206でWebメールの発信者またはWebサーバあてにメールを受領したことを示すステータスページを返す。

また、あて先のWebメールアドレスに対応するユーザが存在しない場合は、ステップS210でWebメールの発信者またはWebサーバあてにあて先に誤りがある旨を通知するエラーページを返す。

【0081】 [電子メールとWebメールの比較] (1)電子メールは、テキストデータの転送を基本とし、M IMEにより拡張することで画像やサウンドなどのマルチ メディア (パイナリデータ) の転送に対応するのに対し

マティア (ハイナリケータ) の転送に対応するのに対して、Webメールは、テキストデータだけでなく、ハイパテキスト、画像、サウンドなどのマルチメディア (パイナリデータ) を容易に転送することができる。

【0082】(2)画像、サウンドなどを含むマルチメディアメールを受信した場合、電子メールシステムにおいては画像、サウンドなどを再生する複数のアプリケーションをユーザ (コンピュータ) ごとに用意する必要があ

るが、WebメールシステムではWWWブラウザだけで再生することができる。

【0083】(3)電子メールシステムのアカウントは、ホストコンピュータ (またはメールサーバ) のアカウントと兼用であり、パスワードも兼用になる。これに対して、Webメールシステムは、独自にメールユーザを管理し、パスワードも独自に管理するので、より高度のセキュリティを得ることができる。

【0084】(4)WWWサーバを利用するWebメールシステムの利用は、ローカルなネットワーク内に限定されず、 WWWブラウザを用いてインターネットにアクセスすることさえできれば、世界中のどこからでも利用することができメールを送受信することができる。

【0085】以下は、電子メールとWebメールとを比較した表である。

	Webメールシステム	電子メールシステム
クライアント	Webプラウザ	電子メールソフト
サーバ	HTTPおよび CGI (Webメールシステム)	SMTP, POPおよびsendmail
取扱えるデータ	書式付テキストを含むテキスト、サウンド、動画を含む画像、リンク情報(WWWで扱える全データ形式)	テキストが基本 (テキスト以外はMIMEを 利用)
データの再現	WWWブラウザを利用	データに対応したアプリ ケーションを利用
利用可能場所	ほぼ無制限	メールサーバに接続可能 なネットワーク内
メールの送受信	Webメールシステムに登録されたユーザあてのメールは誰でも送信可能	登録ユーザ(メールサー パにアカウントをもつユ ーザ)間でのみ可能
クライアントに 関するインスト ールおよび設定	WWWブラウザがインスト ールされていれば不要	メールソフトをインスト ールレメール情報(SMTP サーバ、POPアカウント など)を設定
他のメールシステムとの連携	Webメールシステム間は HTTP、電子メールシステ ムとの間はSMTPを利用	考慮されていない
セキュリティ	アクセス開始時の認証、 その後は毎回異なる一時 パスワードを使用、公開 鍵暗号 の利用が可能	

【0086】以上説明したように、本実施形態によれば、WWWサーバ上で電子メール機能を実現したことにより、マルチメディアメールの送受信および再生を容易に行うことができる。

【0087】また、HTTPを用いるWebメールは、バイナリデータを転送することができるので、メールに添付されたバイナリファイルをテキストデータにエンコードしてから転送する必要がなく、エンコードによりファイルサイズが増えないので、電子メールに比べてメールの転送時間を短縮することができる。さらに、ハイバテキストを使用するWebメールは、リソースを転送せずにリンク情報だけを転送することもでき、メールの転送時間を

大幅に短縮することができるとともに、受信者はリンク 情報に基づき必要なリソースだけを得ることができる。 従って、伝送路などのリソースを効率よく利用して、ロ ーカルエリアネットワークやインターネットなどのネッ トワークの負荷を低減することができる。

【0088】また、ユーザのコンピュータには、WWWブラウザだけを用意すればよく、WWWブラウザの操作を理解するだけで、Webメールの操作を行うことができる。さらに、Webメールシステムの管理者は、ユーザのコンピュータに対しては、WWWブラウザの入手、配布、保守を行うだけでよい。さらに、メールの管理はすべてWebメールサーバ側で行うので、Webメールシステムを構成

するソフトウェアの保守および更新は容易である。

【0089】また、Webメールシステムは、ユーザの検索機能を備え、グループ検索、キーワード検索なども可能である。さらに、検索により抽出された複数のユーザに同報メールを送ることもできる。

[0090]

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、マルチメディアメールの送受信が可能で、操作が容易な電子メールシステムおよび電子メールの処理方法を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

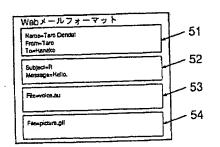
- 【図1】MIMEを利用する電子メールシステムの構成例を 示すプロック図、
- 【図2】Webメールシステムの構成例を示す図、
- 【図3】Webメールシステムが取り扱うマルチメディア メールのフォーマット例を示す図、
- 【図4】Webメールアドレスの例を示す図、
- 【図5】Webメールの操作手順の一例を示す図、
- 【図6】パスワードページの一例を示す図、
- 【図7】パスワードページにユーザ名およびパスワード を入力している様子を示す図、
- 【図8】ゲストの場合にパスワードページに入力する情報の一例を示す図、
- 【図9】受信メールページの一例を示す図、
- 【図10】リードメールページの一例を示す図、
- 【図11A】ライトメールページの一例を示す図、
- 【図11B】添付するファイルを選択するための選択ダイアログが開いた様子を示す図、
- 【図11C】添付ファイルが指定された様子を示す図、
- 【図12】ステータスページの一例を示す図、
- 【図13】外部ユーザにメールを送る場合のWebメールの操作手順の一例を示す図、
- 【図14】外部ユーザにメールを送る場合のライトメールページの一例を示す図、
- 【図15A】外部ユーザにメールを送った場合のステータスページの一例を示す図、
- 【図15B】外部ユーザにメールを送った場合のステー

タスページの一例を示す図、

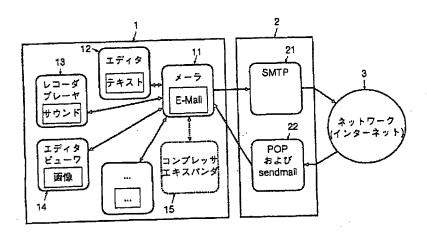
- 【図16】あて先情報の変換例を示す図、
- 【図17】カーボンコピーを送信する場合のライトメールページの一例を示す図、
- 【図18A】カーボンコピーを送信した場合のステータスページの一例を示す図、
- 【図18B】カーボンコピーを送信した場合のステータスページの一例を示す図、
- 【図19】 あて先に電子メールアドレスが指定されたライトメールページの一例を示す図、
- 【図20】受領したメールを電子メールとしてSMTPで送信することを示すステータスページの一例を示す図、
- 【図21】Webメールシステムのユーザ認証手順の一例を示す図、
- 【図22】メンバリストページの一例を示す図、
- 【図23】サーチページの一例を示す図、
- 【図24】検索を行った結果の一例を示す図、
- 【図25】環境設定ページの一例を示す図、
- 【図26】Webメールシステムのソフトウェア構成例を 示す図、
- 【図27】Webメールユーザマネジャの処理例を示すフローチャート、
- 【図28】HTPOの処理例を示すフローチャート、
- 【図29A】リンク情報を送る際のライトページの一例を示す図、
- 【図29B】リンク情報を受け付けた際のステータスページの一例を示す図、
- 【図30A】送信メールをリストしたメールログページ の一例を示す図、
- 【図30B】全メールをリストしたメールログページの 一例を示す図、
- 【図30C】あて先または発信者のメールアドレスに 「hana」が含まれるメールをリストしたメールログペー
- 【図31A】メール開封確認機能を説明するための図、
- 【図31B】メール開封確認機能を説明するための図である。

[図3]

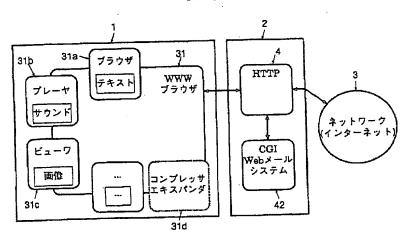
ジの一例を示す図、







[図2]

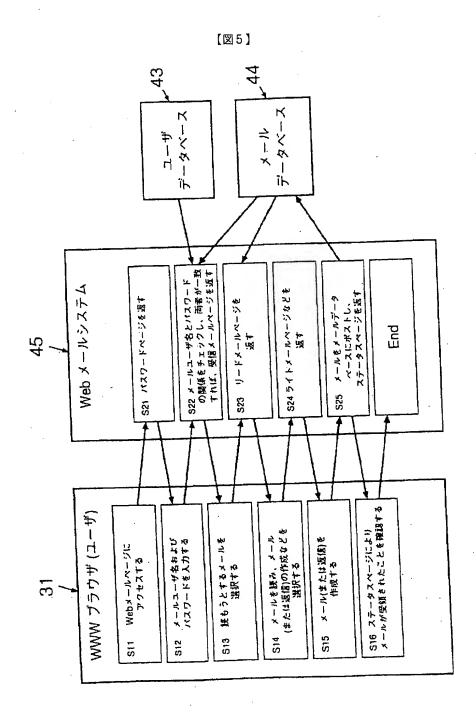


【図4】

[図6]

1	name@URL	
2	group@URL	
3	group.name@UI	EL.
4	name@http://m	min.address/
5	name@http://w	ww.address/program.cgi
(6)	http://ame@www	w.address/program.cgi
(7)	http://www.add	lress/program.cgi#name
	name	メールユーザギ
	group	メールグループ名
	http	プロトコル
	mmm.address	Web メールサーバアドレス
	www.address	WWW サーバナドレス
	program.cgi	メール処理プログラム名

	Se tacopa (CEI WILL(NU-DI-SP)	
File Edit fier Go Booknacks		₩фр
but the last but be leaded to the last but but but but but but but but but bu	Open Print Find Stop	N
TOU-DEE-SP		
P	Peanwrd こんにちは、氏なとパスワードを入力してください。 ゲストの場合は、氏なとメールアドレスを入力してください。	
WEB MAIL	Plant;	
MENU	Pressurd:	1
Coto Ross Pers	Mult:	ì
	Submit Recet	
1		
<u> </u>		



[図7]

	Metacase: (23 MAIL (100-125-52)	Helio
Filo Edit Vien 60 Booksen	a Options Directory Window	
	Good Print Find Sup	N
Locations http://sms.d.		******
India Pro? Profs Cool? De	continue Per Seurch People Sofrents	
TOU-DEE-8P	Password	
A	こんにちは、氏名とパスワードを入力してください。 ゲストの場合は、氏名とメーシアドレスを入力してください。	
WEB MAIL	Numo: taro	
MENU	Pressord: #T T T	
O torn fore Part	Mall:	
	Bubrait Reset	
-		
N .		
,		
<u> </u>		

[図8]

File Edit View So Sockand	Notice Diseasey Window	Help
Dack From Rose Microson Countries http://www.d.d Roses Hort Broke Cool! Dark		
WEB MAJL MENU	Paneword こんにちは、氏外とパスワードを入力して(ださい。 ゲストの場合に、氏光とリールフドレスを入力して(ださい。 Noon: jiro Phosord: Mell. jiro@test.net.or.jp Submit [Fleed]	

[図9]

			II (ffol-occ-se)	Het p
File Edit Vier to Bookserks	Options Pirectory	Tindov		
lect from less beg	Oven Print Fins	5tap		
incation http://man.d.de	odai. ac. jp/vet	mail.cgi		
Maria Nes? Maria (4m)? Derte	ntime and bacach	Personal Confess		
TOU-DEE-SP	Get New Mail			
A	Pead	Date	Name (From To,Co,Link)	Subject
'SE'	R	01/08/98		hello
WEB MAIL	器配	14:00:43		tet(CC)
USER: tero	器物田	14:00:42	From:Denko Dendal(電大 電子) Link:turo	test (LINE)
MENU haber_List(RP:-R)	2	01/08/96 14:03:35	From:Hanabo Dendal(電大 准子) Hottaru Kurdenko	teat
Search (SER-Mark)			KC:04180	
☐ Strite Hall (FER)				
	li		•	
Source Hall Log(38/890)]			
	li .			·
Configuration (80%)	l			
The same of the sa				
口 日曜 (株7)	1			
	<u> </u>			

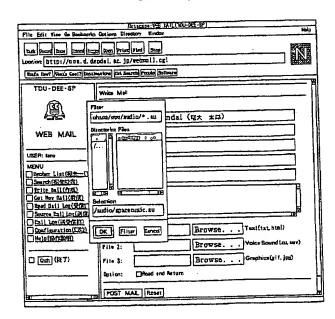
[図10]

ile Edit Vier to Booksedo		at persper : PER BA(L(T)A)-DEE-SF) Help
He Part And to proproses	Options bile	
	COME PITE	Pinal Second
ocmor http://pms.d.de		2012
State Sent Men's Coult Dest.	ne tional Per Sea	reb People Botomre
TDU-DEE-SP		
100-DEE-SF	Read Mail C	No.23
•	5	01/08/96 14:00:45(LT)
	Date	Darkin Dendai (東大 電子)
ar.	E-mail	denkolki, dentki, et. jp
*****	From	Geriso
WEB MAIL	To	
	Cc	
USER: tero	Link	taro
MENU	Access	USER from compa Noville/1, ObSa(Ell:):SorOS 5.5 purie)
Desber List(Rift:-E)	Spiect	test (LIMI)
Search (紀史統定)	test	
Trice Mail(fred)	File:souces	unic an
frt ber beil(Biff)		
Description		
Source Mail Log (3/3/4)	File: NL EL	
		•
Help(Mrs.50)		
C CHARLES THE	1	
	1	
□ Qui (#7)	11	
	SUB ME	NU : HTML Mail I into, Prev. Next. Write Reply Move. Deleve
3	11	

【図11A】

		at some (IEA MAIL (TOU-DEE-SE)		
File Edit Vien Bo Bunkmatte				
	Ocean Print			
Lacarion: http://nom.d. dendmi.mc. jp/webnail.egi				
Wals the Dark Colf Desi	nations Fer Ses	rch People Streete		
TOU-DEE-BP	Witte Mail			
<u>P</u>	Pult Harae:	Taro Dendai (転大 太郎)		
WEB MAIL	10:	jiro		
	Cc:			
MENU	Lirk:			
Seruch (Alter (Alter A)	Bubject:	bello		
Print beil (1995)	Dessego:	helio		
Dail Long (Sept. 1) Configuration (Schill District (S	File 1:	Browse, Test(us.hml)		
	File 2:	Browse Yoics Sound (nu. exv)		
口配件证	71 to 3:	Browse Graphics (glt. jpg)		
	Option:	☐Read and Return		
Rr	POST M	NiL] [Reset		

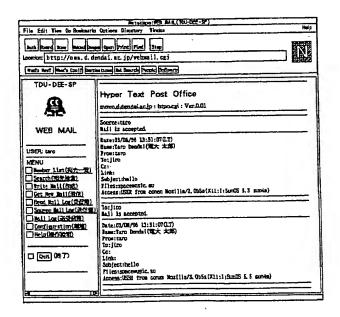
【図11B】



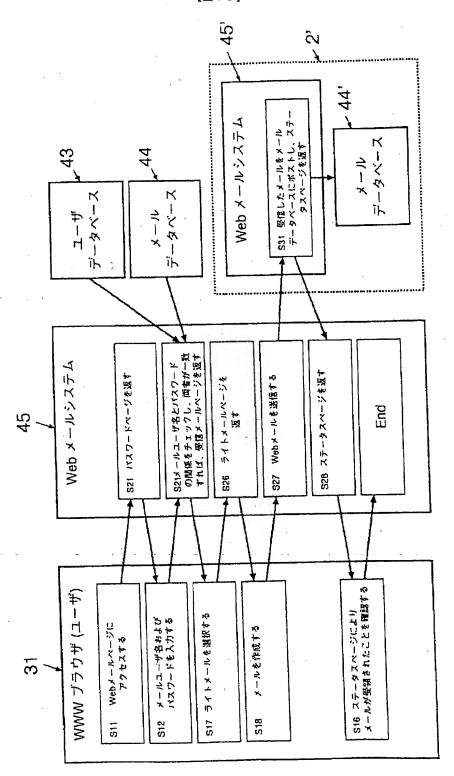
【図11C】

File Edit View Go Books site		ratempr (RES MAIL (TOU-DEE-SP) Only Vindou
Locations http://mmm.d.de		/sebm 11. cgi
State Seet Facts Cool? Dett	nation Pet See	arch Fessel Sofester
TDU-DEE-SP	Write Mail	
鼻	futi lime:	Taro Dendai (农大 太知)
WEB MAIL	To:	jiro
USER: two	Co:	
MENU □ Rester List(#55-17)	Link:	hello
Search(#ifthe####################################	Subject: Reconge:	hello
Source Hall Log (245/87) hall Log (245/879) Configuration (254)	File 1:	Browse Textitat htel)
□ <u>₩10(84.03890</u>)	File 2:	acemusic.au Browse Voice Bound (au may)
□ @ (#7)	File 3:	Browse Graphics(git, ipg)
	Option:	
10	TUST M	vr [Leav.]

[図12]



[図13]

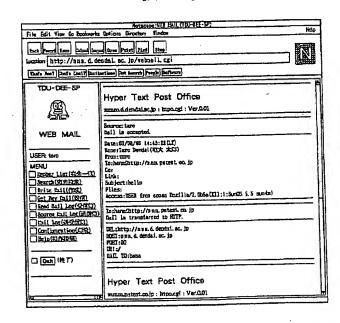




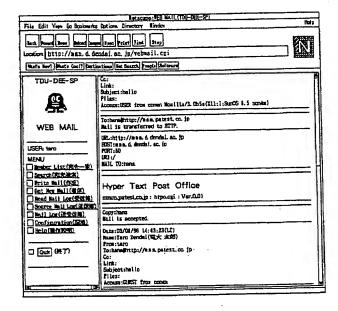
[図14]

		etacepo: YEB GAT TIPE OF C-SP)	
File Edit View So Booksorks			Italo
Location in the Country Countr		/webasil.cgi	N
TDU-DEE-SP			P
100-DEE-SP	Write Mel		
P	Full Yeas:	Taro Dendai (证大 太郎)]
WEB MAIL	Ta:	hans@http://mmm.patest.co.jp	ا ك
USER: turo	Co: { Ink:		
Deuter List(SIR-ST)	Subject:	helio	2
	Ensseen:	hello	
□ Eall Lon(含色面口) □ Confinent Lon(配印) □ No Lon(17022年)	File 1:	Browse. Text (set, html)	_
	File 2:	Browse Voice Sound (ou,	"
□ Gad (#FT)	File 3:	Browse Grantics leif, jr.	١
	Option:	Planed and Return	:
	POST M	AIL Feort	

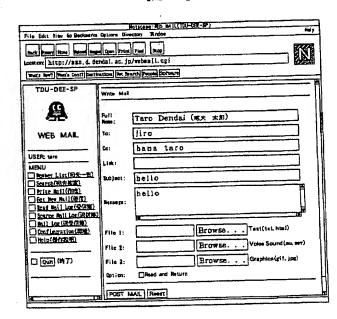
【図15A】

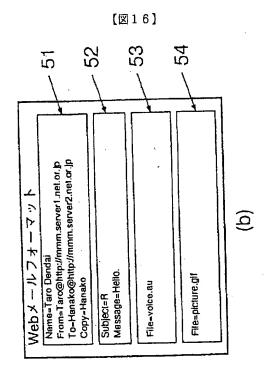


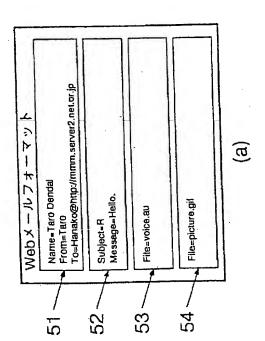
【図15B】



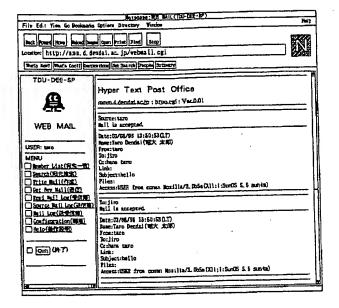
[図17]



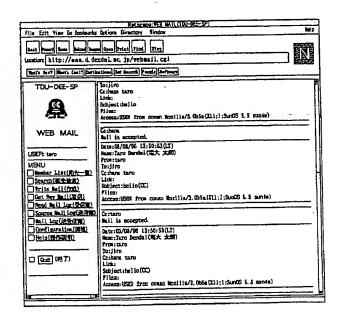




【図18A】



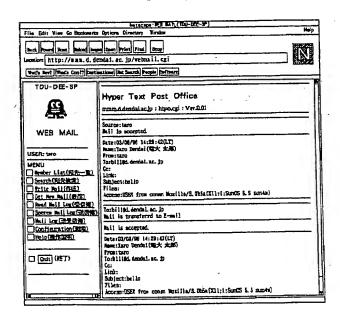
[図18B]

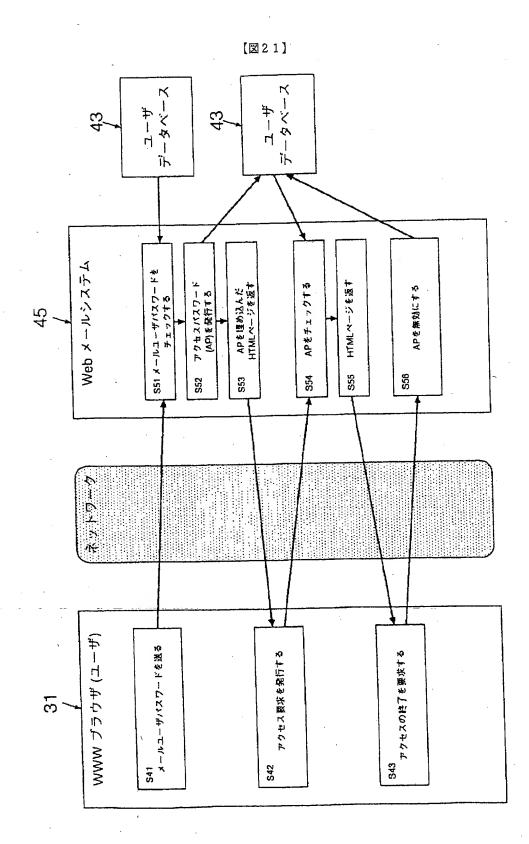


[図19]

		Heat acage; MEB MAIL (TOU-DEE-SP)
File Edit View Go Bookweek		
Deck Francisco Research Resear		
Hourts hand Plant's Cool? Date	Bertions (Net Se	no leok guerre
TOU-DEE-SP	Write Mail	
A	Fuli	Taro Dendai (東大 北郎)
WEB MAIL	3 0:	bill @ d.dendai.ac.jp
USER: tere	Ca:	
MEMU	Link:	
Search(SUTERS)	Schject:	hello
Trise Mail(feet) Det Hee Mail(feet) Tread Mail Log(feet) Source Mail Log(feet)	Basedge:	helio
Inil Log(254256) Configuration(5256) Help(5545256)	File 1:	Browse Text(ut hist)
	File 2:	Browse Voice Sound (au, mr)
□ <u>[Gas</u>] (#27)	Pliv 3:	Browse Graphics (gif, jps)
	Op11cm:	Read and Return
	POST M	AIL Reset

【図20】





[図22]

postione http://sss.d.de Touth Best Hade Coolf Doron				
TOU-DEE-SP	Mamber Li	si .		
A	Write	Nesse	Group Keyword	Memo
	图	職大 太郎 Taro Dendai	Group	Herro.
WEB MAIL	<u> </u>	WE大石デ Here to Denda!	Group Ler	Hem.
USER: tero	P	地大 次郎 Jiro Dendai	Group Ley	Rest.
MENU	8	電大 三郎 Seburo Desini	Group	Meso,
Search(a/Chick)	a	電大 電子 Denito Dendal	Group Ley	Seso.
Prite Nati(1950) Set New Shift(Sc) Set New Shift(Sc) Pend Sail Lon(\$5250) Secret Nati Lon(\$5250) Nati Lon(\$4250) Nati Lon(\$4250) Nati Lon(\$4250) Hell (1950) Hell (1950) Gual (1957)				

[図23] .

File Edit Yley Go Booksarks		Per BAT (TOU-CE)	(·P)	Ble/p
	mds i. ac. ip/seb	Step ail.cgi		
TOU-DEE-SP	Search			
WEB MAIL	here: Group: Keyword:			
USER: tare MENU Brower List(現本一覧) Search(現本機能) Price Bull(形成) Get New Bull(形成)	Smith Reser	Clear	Group	Mamo
Secre bil Lor(S/S/K)	111	ALL Natched North	Kayword	
In Lor (25 GH) Configuration (25 GH) Help (26 GH) Help (0/5 mahera set			
- U				

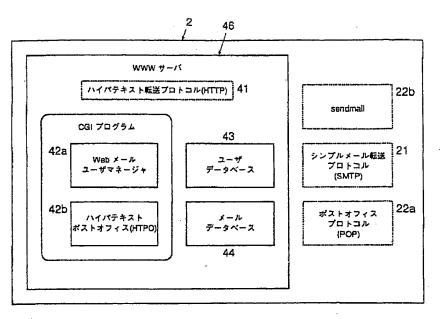
[図24]

File Edit Ties Go Booksanks		by Vindor		₩p		
	Commitment Find Stop					
Location http://ase.d.de	ndal. ac. jp/v	dal. ac. jp/webmail.cgi				
Phat's Bert Eret's Cool? Desta	etken let Serr	Proch Soften				
TOU-DEE-SP	Search					
A	Acres:	iro				
WEB MAIL	Group:					
USER: tare	Keyword:					
MENU Menter List(現余一覧) Seurch(高水地流)	Search Re	Con				
Frite Holl(1995) Get New Holl(1997) Read Holl Log(57679)	Write	Narrya	Group Keyward	Merivo		
□ Source Mill Log(表情報) □ Mail Log(表學者報)	a	定大 次年 Jiro Deski	Group	Messo.		
Configuration (1874)		ALL Matched Newbern				
D (04) 05)	1/5 makers	estched				
	l		•			
3	<u> </u>					

[図25]

		R SE AIRCEUS SES	Help
File Edit Vies So Boolowits	Options Directory 1	Findo-	
but Read that been but Location: http://ess.d.do	السنادية المساد	3co (1. cg1	N
West's Bow? What's Deal? Deal is	atzena Het Smerch Pace	Dig Softmare	
TOU-DEE-SP	Configuration		[
<u>a</u>	Name: sero , Taro E	Dendai,至大文的	
52			
WEB MAIL	Old Password:		,
USER: sero	New Passward(81):	(2nd):	7 1
MENU Rester List(安京一覧)	E-mil:	taro@d.dendai.ac.jp	۱ ا
Scarch(新史社会)	Group:	Group	_
Det ber mil(行法)	Reyeard:	Key	_
Read Ball Lon(学信報) Source Pail Lon(法信報)	Sexo:	Мешо]]
Configuration(SCS)	Got Bail interval:	:180 sec.	
	I. G. Color:	# 101010	İ
□ @@ 0€17			
 	Set Up Reset		
			

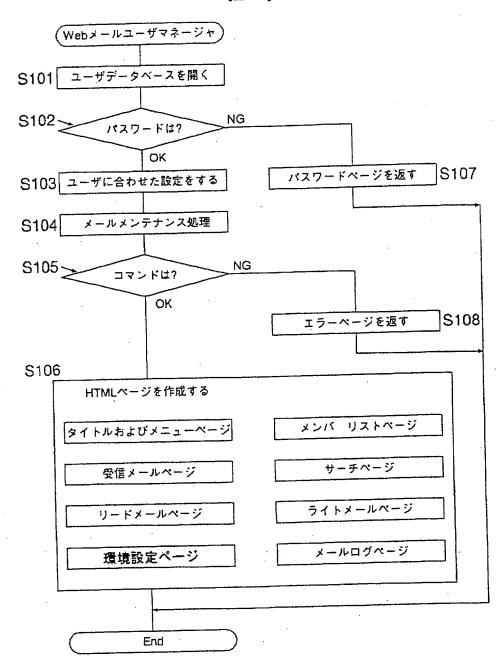
【図26】



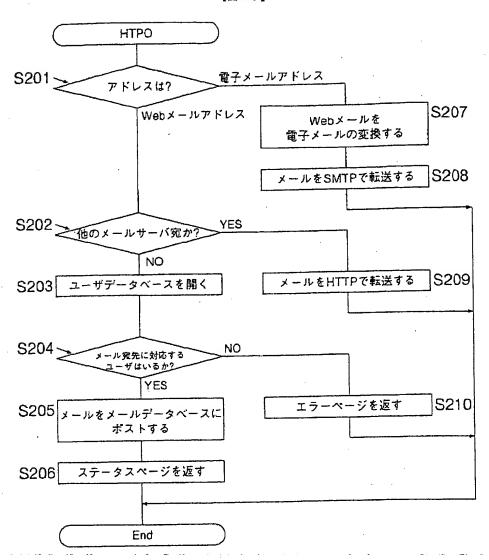
[図29A]

		ersone: 13 mil((m-m-m)	Helic		
File Edit Vive Go Bookserte Back Found Risse Paloni has tocation: http://sum.d.do [9:afa Scal] [9:acc Coat] [8:acc	Open Frial	Den Frial Fred Step 31. ac. jp/webmail.cgi			
TOU-DEE-SP	Write Mail				
A	i	Taro Dendai (電大 大郎)]		
WEB MAIL.	To: Cc:				
MENU Search (Fifther) Trice Hall (Cost)	Link: Subject:	hello	<u> </u>		
Gen New Mall (\$755) Read Nail Log (\$7570) Source Nail Log (\$7570) Batt Log (\$7570)	Nessatzo:	hello			
Configuration(Rtd)	File 1: Pile 2:	Browse Textitet, htel) //home/consn Browse Yoke Sound(so.	(726		
[] [Quit] (#7)	File 3: Option:	Browse Graphics (glf. jp	.		
30	POST M	AIL Read			

[図27]



[図28]



[図29B]

	in tackons in C. M. (L. (TP. In 1919))	Help	
File Edit View So Bookwarks	Options Directory Window	797	
TOU-DEE-SP	Hyper Text Post Office		
WEB MAIL	Source: LETO Mail: is accepted. Date: FI/DS/96 14:10:11(LT)		
LISER: turn MENU Repher List(Fifth B) Searth(Fifth B) Dirity Ball(Fifth) Dies Rev Ball(Fifth)	Retrial/Retrial(現代 大家) Frontare In: Linkthesian Subject hello Subject hello Access/USEs fron comm Retilla/5, Obia (LII:): SudOS 5, 5 survia)		
Read Buil Log (\$4(20)) Source Well Log (\$4(20)) Reil Log (\$2(20)) Configuration (\$2(2)) Relp (\$2(2)) \$2(2)	Date:01/04/95 [4:10:11(17) Mass:Taro Dendsi (和大 太郎) Prost:Raro		
□ Gud (#7)	Jo: Cc: Links:denke Shipsorthed lo(Link) Filestspromanic, so Access:USE free common Mostlin/A. Obla (XII; I; SanOS 3.5 semio)		
	s		

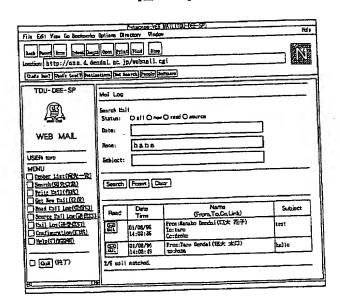
[図30A]

He Erit View to Booksorto	Opelors Directory	Vindo		
mostors http://www.d.de			R	
TDU-DEE-SP	Mirl Log			
A		I O neri O i	rand 🏶 source	l
WEB MAIL	Date:			
USER: EMO	Subject:			<u> </u>
□ Nember List(現珠一版) □ Saurch(宏大建本) □ Brite Sail(伊政) □ Get Ser Sail(伊政)	Search Res	10-		
Searce Inil Loc(5/6/8)	Read	Date	Hame (From To,Cc,Link)	Subject
	麗	03/08/96	Prest:Esro Dental (電大 太邦) Nothara	hel lo
□ He In (操作型型)	鼠物	01/08/96 14:10:11	Produzero Dendal(毛文 太郎) Link:dendo	hello
□ Gerra (NE.1.)	2/9 ==11 ==+1	ed		

[図30B]

	in them	HE BALL	(TOU-DEE-SF)	Hala
File Edit Sier Co Bookmadu	le Edit Sier to Booknadu Octions Directory Window			
tourion http://mzn.d.de				
Phoft Revi Warfs Cantil Conti	ro tions Del Serves Dr	cole forter	<u> </u>	
TOU-DEE-SP	Mail Log			
	Scarch Hail Statut: O all	Опесс	and O source	
WEB MAIL	Onte:			
USER: ESO MENU tentor_List(Mith_M) Seatch(Mith) Mit Seatch(Mith) Mit Office Sell(Mith) Office Sell(Mith)	Subject: Sourch Please	[Ger]		
Source Pail Lor(BEGES)	Read	Darte Time	Name (From.To.Cal.ink)	Subject
Continuation(USD)	副	13:69:25	Prox:Denko Denda i (以大 五子) Io: taro	bel to
Dieta(Direta)	鹽區	01/01/93	Pron:Denko Dendaj (亞大 15子) Cc: taro	Lest (CC)
□ <u>Gent</u> (#17)	紀400 0	114:00:43	Pron:Denko Dendai (以大 以子) Link:taro	test (LISE)
		01/01/96	Prog:Banako Denda!(以大 在子) No:1400	test

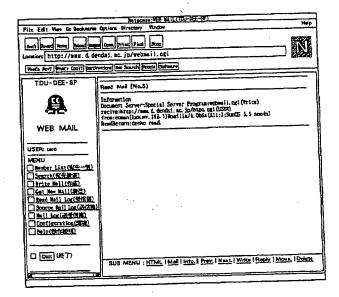
[図30C]



[図31A]

	Mot	scene : P.3 MAIL(TOU-DEE-SP)		
File Edit Vies Go Bocksarts				
Deed Prince Prince Prince Prince Prince Deed				
TDU-DEE-SP	Reed Mail (N	0.5]		
B	Patr	01/91/16 14:10:11(LT)		
	Date:	Taro Dendai (紀大 太郎)		
	B-mil	terpit deode i. ac. jo		
WEB MAIL	Pros To Ke	tarp		
USER: tare	Link	denko		
	Acress	NEER from conem Nozilla/1 055a(X11;1;9,m05 5.5 games)		
MENU	3.bjec1	helio		
Seater List(#6%-19)	hello	12110		
Search (系统统数)	METIO			
Prine Mail((((((((((((((((((((((((((((((((((((Pile:spacewis	nie m		
Dell Log(MSRM) Conflictes (MSR) Belo (MRSM)				
1	{ }			
□ (M) (M) (M)	EUB WENT	: HTME, Mail Info. Prev. Nazz. Wilbs Reply Move, Delete		
3 C	<u> </u>			

[図31B]



This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:
☐ BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
FADED TEXT OR DRAWING
BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

☐ OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.